

【資料3. がん性疼痛に適応のある当院採用の医療用麻薬一覧(2023年5月現在)】

成分名	製剤名	採用規格	投与経路	レスキュー使用	効果発現時間	効果判定	効果持続時間	定期投与間隔
オキシコドン	オキシコドン徐放錠N X	5mg、20mg、40mg	経口	×	1時間	2~4時間	12時間	12時間(8時間)
	オキシコドン内服液	2.5mg	経口	◎	20分	1~2時間	4~6時間	4~6時間
	オキシコドン錠	2.5mg、10mg	経口	◎	20分	1~2時間	4~6時間	4~6時間
	オキシコドン注射液	10mg/1mL、50mg/5mL	注射	○	数分以内	10分
モルヒネ	MS コンチン錠	10mg	経口	×	1.5~2時間	2~4時間	8~14時間	12時間(8時間)
	オプソ内服液	5mg、10mg	経口	◎	10分以内	1時間	3~5時間	4~6時間
	モルヒネ塩酸塩注射液	10mg/1mL、50mg/5mL	注射	○	数分以内	10分
	アンペック坐薬	10mg	坐剤	○	20分	1~2時間	6~10時間	6~8時間
ヒドロモルフォン	ナルサス錠	2mg、6mg、12mg	経口	×	1時間	24時間	24時間	24時間
	ナルラピド錠	1mg、4mg	経口	◎	10~20分	1時間	4~6時間	4~6時間
	ナルベイン注	2mg/1mL	注射	○	数分以内	10分
フェンタニル	フェントステープ	0.5mg	経皮	×	2時間	24時間	24時間	24時間
	フェンタニルクエン酸1日用テープ	0.5mg、1mg、2mg、4mg	経皮	×	2時間	24時間	24時間	24時間
	アブストラル舌下錠	100μg	経口	◎	数分以内	30分	1時間
	フェンタニル注射液	0.1mg/2mL	注射	○	数分以内	10分
メサドン	メサペイン錠(※1)	5mg	経口	×	※2	30分	8~12時間	1日2~3回(※3)

限定採用

(※1)メサペイン錠は処方するためには条件があります。詳細は薬剤室までお問い合わせ下さい。

(※2)メサペインの効果発現時間は30分程度だが、体内動態により初期では効果持続時間が短くなる。

定常状態になるまでに約1週間を要する。ただし、個人差が大きい。

(※3)メサペインは半減期が非常に長いため、定時投与でなくてよい。